

いろいろな使いかた

その他設定

便器の水たまり面を下げる
(水の跳ね返り低減や検便のときなど)

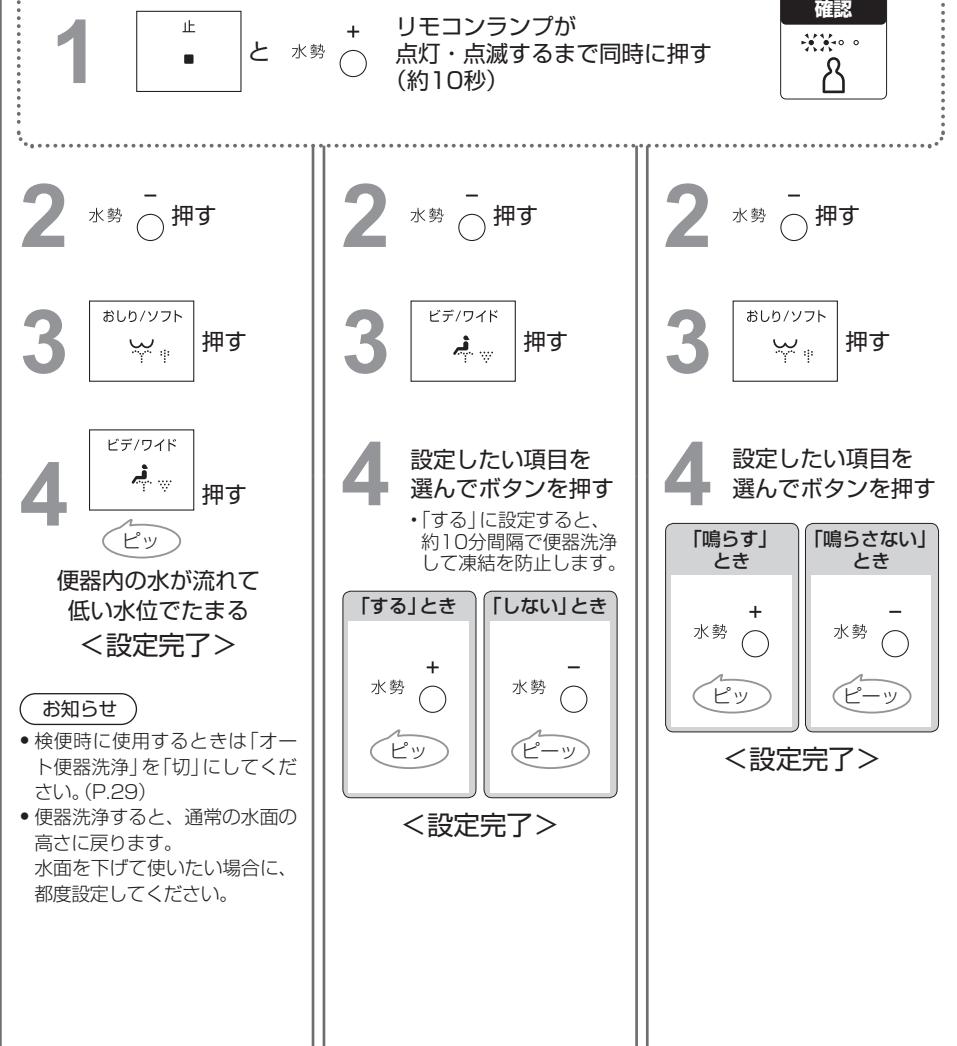
水面下げる

便器とウォシュレットの水を一定の間隔で自動で流す

凍結防止

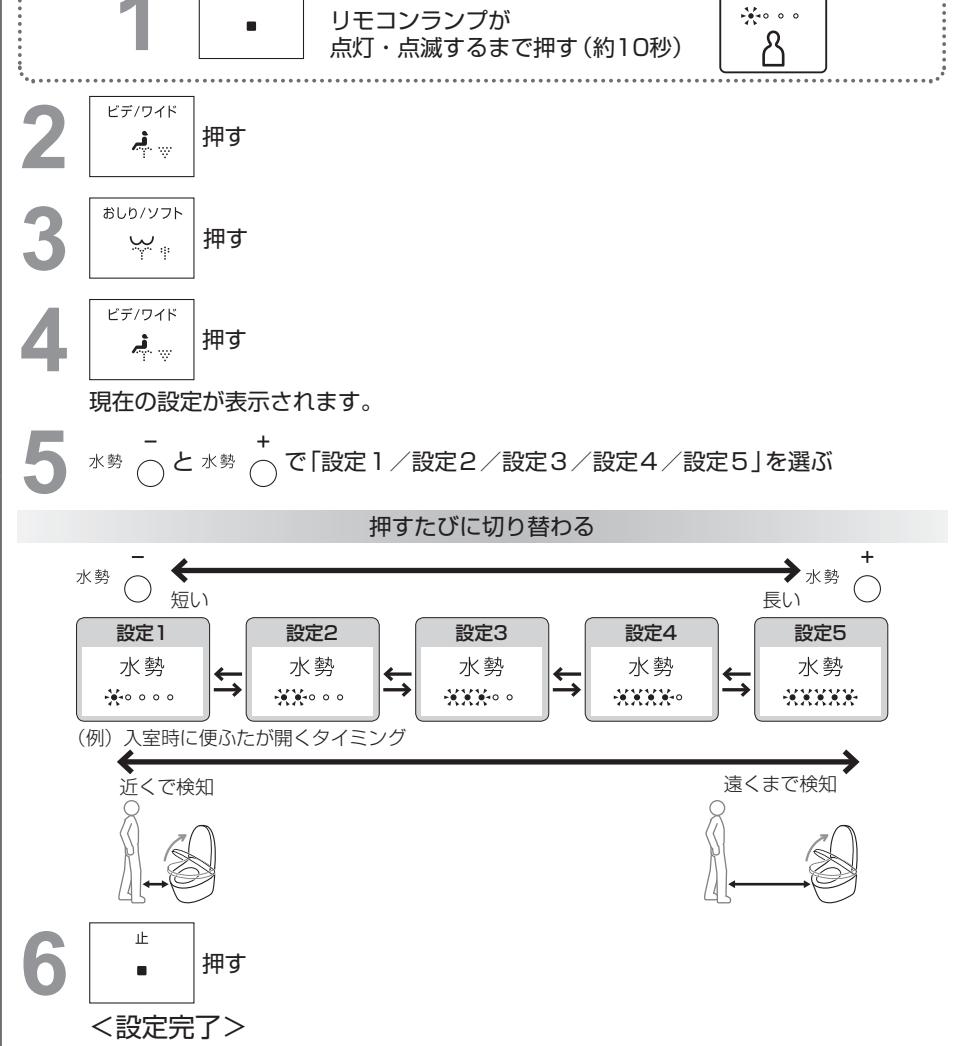
電子音を鳴らす/鳴らない

電子音



入室時に便ふたの開くタイミングなどを変更することができます

人体検知センサーの検知距離



こんなときは

凍結予防をするとき

外気温が0°C以下になるときは、凍結予防を行ってください。

- 便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- 外気温が0°C以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- 周囲の温度が0°C以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- 作業前に、「オート便器洗浄」(P.29)「オートふた開閉」(P.31)を「切」にしてください。

流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた(P.36)

- リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- 「運転」ランプが点滅する
- 約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- 約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- 止水栓は開けたままにしておいてください。
(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)

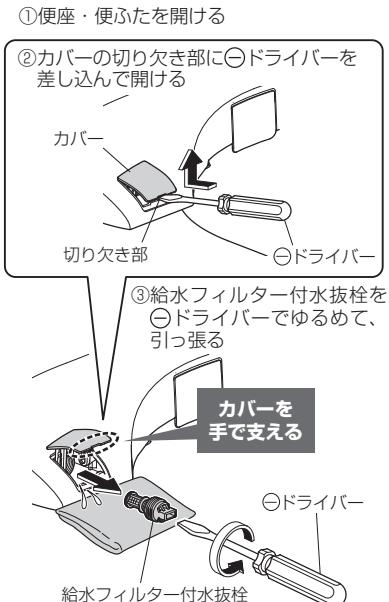


2 ノズルきれい 押す

- 給水管の圧抜き

3 電源プラグを抜く

4 配管の水を抜く



5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

- 給水フィルター付水抜栓を押し込み、 \ominus ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む

- 「運転」ランプが点灯する

7 「流す大 」を押してタンクの水を抜く^{※1}

8 便座温度を「高」にする(P.20)

- 保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.61)

お知らせ

- ヒーター付便器は室温が5°C以下になると自動でヒーターがります。
- 凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

*1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。